

# 飯能市先輩職員インタビュー

## ～ 技師編 ～

### 先輩職員プロフィール



間野 幸治（平成27年度入庁）

建設部道路公園課 技師

### 現在の仕事について

道路工事の設計、監督を主に担当しています。

設計や監督がメインの仕事ではありますが、工事に伴う近隣住民への説明や用地交渉、市役所内の他部署や、警察などの外部関係機関との調整など、工事を進めていく中で市民の皆様をはじめ様々な人たちと関わりあいながら業務を進めています。

### 仕事のやりがい、魅力

市が実施する工事は、市民の皆様から頂いた貴重な税金を使って行っています。その責任をしっかりと自覚しながら、生活基盤となる道路をつくり守っていくことは非常に大きなやりがいです。現場で市民の方から「道を綺麗にしてくれてありがとう」、「広げてくれてありがとう」などと直接声をかけてもらえることもあるので、そのときはとても嬉しいです。

また、道路の計画から設計、施工、維持管理と、一貫して道路行政に携われるのも、自治体ならではの魅力だと思います。

## 職場の雰囲気

メリハリがあって明るい職員が多く、アグレッシブな雰囲気です。民間企業などで豊富な経験を積んでいる先輩職員も多いのですが、その先輩たちが自身の経験や知識を惜しみなく教えてくださるので、とてもありがたいです。

また、ベテラン若手関係なく、お互いに自分の意見を言い合える風通しのよい職場です。



## 飯能市を志望した理由

『仕事のやりがい、魅力』のパートでも話しましたが、ひとつの現場に対して計画から完成後の維持管理まで携わることができるということが、技師として自治体への就職を志望する動機のひとつでした。

私は生まれ育ってきた故郷である飯能市が大好きです。その飯能市を、まちづくりを通して自らの手で良いまちにしていきたいという強い思いから飯能市を志望しました。

## 採用までに経験しておいてよかった（又は経験しておきたかった）と思うこと

「勉強はいくらしてもやり過ぎということはない」ということを実感しています。現場を経験していく中で初めてわかることも多いですが、学生の方は可能な限り色々な勉強をしておいた方がいいと思います。

また、市の業務は非常に多くの関係者、関係機関と協力しながら進めていくので、コミュニケーション能力は大切になってくると思います。私は前職で営業の仕事をしていたので、そのときの経験は役に立っているかと思っています。

## 飯能市を受験する方へのメッセージ

飯能市には市街地から山間地域まで、幅広い地域があります。都市と自然が共存した、とても魅力のあるまちです。技師として様々な種類の現場に携わることができますし、新たにまちを良くするために手がけていきたい現場も多く待っています。

そして、飯能市は今「市民サービス日本一の市役所」を目指している最中でもあります。

「市民サービス日本一の市役所」実現のために、飯能市のために、是非一緒にがんばりましょう！